令和５年度　馬見丘陵公園花サポーター支援業務委託（馬見丘陵公園の利活用推進事業（都づくり）・単独都市計画公園事業）

業務説明書

１．業務の背景・目的

馬見丘陵公園は、「歴史と自然に囲まれた憩いの空間づくり」を目的に、昭和59年より整備に着手し、平成24年6月に全面開園（56.2ha)した。現在では、ナガレ山古墳をはじめとする文化財や、桜やチューリップ、花菖蒲、ヒマワリ、ダリアなどの四季折々の花々を求めて、年間約100万人の人々が訪れる公園となっている。

近年の馬見丘陵公園では、花や緑をはじめとする公園の資源を活用した、「馬見チューリップフェア」や「馬見花菖蒲まつり」、「馬見フラワーフェスタ」のイベント開催のほか、各種講習会の実施など、花や緑に関するソフト事業を展開している。

また、平成25年度より公園の花壇管理に関するパークボランティア「馬見丘陵公園花サポーター（以下、馬見花サポーター）」の募集を行い、県民協働花壇や花緑ボランティアとして活動を行っている。今後、県民協働を推進していく観点からも、ボランティア関連事業の充実を図る方針であり、その一つとして、平成26年度よりイベントへの花壇出展やスキルアップ講座の開催などを行ってきた。

本業務は、馬見花サポーターの花修景に関するスキルアップを図るとともに、「馬見フラワーフェスタ」及び「馬見チューリップフェア」期間中の花修景を目的に、馬見花サポーターの花壇づくり等を支援するものである。

２．業務の場所

奈良県営馬見丘陵公園（北葛城郡広陵町及び河合町）

３．業務内容

ワークショップの実施にあたっては、過年度の実施内容を踏まえたうえで、馬見丘陵公園だけでなく、家庭や地域の公園等の公共空間における花壇づくりへとスキルアップできるよう配慮すること。

３－１．ワークショップに向けての準備

・与条件の確認、現地把握
・企画及び調整
・当日資料やツールの作成と確認

３－２．花壇づくりワークショップ

・花壇テーマやデザインに関するワークショップを秋花壇設計 1 回、春花壇設計 1 回を開催する。また、植物を利用した体験講習を開催するためのスキル習得に関するワークショップ 1 回を含む、計 3 回以上の開催を標準とする。
・ワークショップは、花サポーターが花壇デザインや取扱う植物の基本を理解できるよう「振り返り」を交えて実施
・ワークショップは、花サポーターが提案あるいは選択できるような機会を設けて花壇デザイン等について理解を深められるよう実施
・花サポーターが自ら施工する際に必要な資料を作成
・ボーダー花壇で使用する草花苗等の資材調達
・ハンギングバスケットの花苗、ヤシマット資材調達

３－３．成果のまとめ等

・各回でのアンケート照査の実施
・ニュースレターの発行（3 回）

３－４．設計協議

・業務着手時、中間時 3 回、成果品納入時の計 5 回以上を標準とする。
・記録の整理は受注者が行うものとする。

４．花壇について

４－１．規模及び設置時期

・花壇：ボーダー花壇約 20m2、ハンギングバスケット 35 基、コンテナ 12 基
・設置場所：北エリア「彩りの広場」
・草花植栽数量：秋・春合計 1,800 株程度を想定
（ボーダー花壇、ハンギングバスケット等の花苗）
・参加予定者：馬見丘陵公園花サポーター57 人

４－２．花壇植栽イメージ

・制作する花壇は、当公園のイベント「馬見フラワーフェスタ」及び「馬見チューリップフェア」において、イベント期間中 1 カ月程度継続して鑑賞できるよう、また、会場の花修景となるよう配慮する。

５．成果品

本業務は、電子納品対象外とする。

① 報告書（簡易製本）　　2 部
② 上記電子データ（CD-R）　2 部

６．履行期間

令和 6 年 3 月 22 日